

ご検討の観点と対応する具体特色

教育基本法との対応

教育基本法 第2条	『楽しく学ぶ 小学生の地図帳4・5・6年』における教育基本法との対応
<p>第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・領土など領域の概念について解説するとともに、写真を併置して、日本の領域が理解しやすくなるページを設けています。(P. 11-12、13-15、16-18) ・日本の国土全体の正しい位置関係を把握できるよう、400万分の1の縮尺により南西諸島から北方領土までを見わたせるようにしています。(P. 13-18) ・日本の各地方の地図は、縮尺を原則として100万分の1で統一し、都道府県の位置と大きさを正確に理解できるようにしています。(全体) ・都市圏などの拡大図は縮尺を50万分の1で統一し、地域のようすを詳細に読み取れるようにしています。(全体を通じ8か所) ・世界のすべての州を、赤道の真上からの視点の等高段彩表現に統一しています。また縮尺も4000万分の1で統一しています。各大陸の位置関係や大きさなど理解しやすくなります。(P. 53-54、57-58、61-62) ・日本と関係の深いアジア、ヨーロッパ、北アメリカには、別途に拡大図を設けています。(P. 55-56、59-60、63-64) ・地形、気候、産業についての資料ページを設けています。資料ページのおもな主題図は縮尺を統一し、比較できるようにしています。(P. 65-71) ・都道府県別を始めとする各種統計を多数取りあげています。さまざまな学習と関連づけることができるように、農産物や工業製品についてはグラフを掲載しています。(P. 72-75)
<p>第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分の言葉で自分が暮らす都道府県を説明する課題を設けたり、自らの考えによって答えを導く問いかけを設けたりしています。(P. 3右下、P. 83右下など) ・資料活用能力が着実に身につくよう、「地図のなりたちとやくそくごと」や「地図の使い方」に関する内容を充実しています。(P. 5-8) ・カラーバリアフリーの視点から、色づかいや表現を工夫し、色覚に特性をもつ児童でも地図の要素が読み取りやすくしています。(全体) ・正しい漢字を学習できるよう、地名などの漢字は、各自治体で定められた正式な字を使用し、「とめ」「はね」「はらい」が正しい国語で学ぶ漢字と同じ書体を採用しています。(全編) ・地名を正しく読めるようすべての地名に、漢字と正しく対応する位置にふりがなを付しています。(全編)

<p>第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地で起こりうる災害を例示し、そこから身のまわりの防災と自らの行動について児童が考え、実際の防災マップづくりに取り組める内容を盛り込んでいます。(P. 82-83) ※東日本大震災に関しては、被災地の児童などの心情に配慮して、被害の写真を掲載しておりません。 ・「日本の拡大図」には、神戸、東京スカイツリー、札幌などそれぞれの都市特有の災害に対しての対策をとらえられる主題図を掲載しています。(P. 27②、P. 40③、P. 49③) ・東京は鳥瞰図と主題図から、都市的災害をとらえられます。 ・隣の児童と地図帳をもち寄り、重ね合わせることで、地図の広範囲を見わたす活動を盛り込んでいます。(P. 13-15、P. 16-18) ・キャラクターどうしが互いに教え合いながら、資料の読み取りやさくいんを活用する場面を掲載しています。(P. 65、68、69、71、76) ・読図を助けるために用いた男子と女子の児童キャラクターは、ほぼ同数登場するようにしています。(全体)
<p>第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「貴重な動植物」「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」などを記載しています。(P. 13-50) ・「環境のまち北九州市」「東京湾の埋立と残された自然」「気仙沼付近の漁業のようす」「釧路湿原のようす」など、環境を取りあげた地域主題図を適宜掲載しています。(P. 21②、38②、44②、48④・⑤) ・風力発電や地熱発電・太陽光発電などによる、自然エネルギーを使用した大規模な発電所がわかる記号を設けています。(P. 10-50)
<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の「地方別の地図」は、人々の営みや産業のようすが読み取れるよう、土地利用表現と等高段彩を合わせた地図表現を採用しています。(全体) ・地図には産業、伝統文化、環境などさまざまな観点の絵記号やイラストを配置し、地域の特性を幅広い視点で学べるようにしています。(全体) ・学習上重要な歴史地名や世界文化遺産をそれぞれ青色と緑色の反転文字で端的に示しています。また、それらの理解を助けるための写真を随所に掲載しています。(P. 13-50) ・伝統がいきづく平成の大合併以前の市町村名も表記しています。(P. 10-50) ・「高地のくらしー八ヶ岳山ろくの野菜づくりー」「自動車生産のようすー豊田市のまわりー」など、日本各地の特色ある産業に関わる地域主題図を随所に掲載しています。(P. 24⑥、25-26③、31②、34③、44②、48③) ・世界文化遺産や歴史地名が集中する京都と奈良は、特別に鳥瞰図を設けています。(P. 29②、③) ・「江戸」の地図と「東京都の中心部」の地図とを同縮尺で併置し、比較を通して時代による変化や、現在に伝わる江戸時代の建物や文化などが理解できるようにしています。(P. 39-40)

・ **世界**の各図には、各地の産業、文化、世界遺産に関わる**イラスト**や記号、写真を掲載しています。また、すべての国の**国旗**も各図に掲載しています。

(P. 53-64、P. 84-86)

・ **英語学習**で活用できるよう、アメリカ合衆国の拡大図では、国や州の名称に**英語表記**を付記しています。(P. 63-64)